



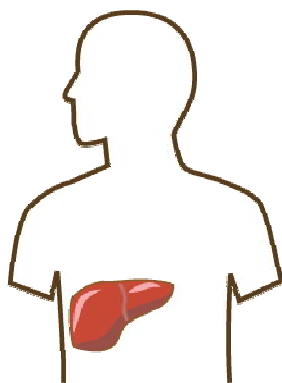
『 C型肝炎の治療について 』

近年C型肝炎の治療は著しく進歩してきました。インターフェロンを使用し、高熱・食欲不振・脱毛・抑うつ傾向といった激しい副作用と闘いながら治療してきた時代は終焉を迎え、逆に、副作用が非常に少なく、90%以上の方々が治癒できる内服治療の時代になってきました。

なお、医療費助成制度も充実しており、月々の自己負担額は1～2万円、3ヶ月の治療期間で終了します。

しかし、いくつかの問題点もあります。C型肝炎の型やタイプによって治療薬が大きく異なったり、一度内服治療で失敗すると他の薬剤が効かなくなる、いわゆる薬剤耐性の出現という問題もあります。したがって、高血圧や腎機能障害、糖尿病などの持病がある場合などと同じように、治療方針を十分に検討する必要があります。

C型肝炎は治癒できる時代になってきました。当院などの肝臓専門医に相談いただき、一日も早くC型肝炎ウイルスを撲滅し、明るい未来を確保できればと心から願っております。



鹿児島厚生連病院
内科統括部長
平 峯 靖 也